

Noda International Relations Association



野田市国際交流協会

ファンファーレ
FANFARE
ニール
N.I.R.A.

第4号
4th Edition

1999年2月7日発行

<発行>野田市国際交流協会



目次 (Contents)

- | | | |
|----|---|---|
| 2 | <u>ガーデンパーティ 98</u>
バンブーダンス
バツバカ獅子舞 | <u>Garden Party '98</u>
Bamboo Dance
Bappaka Lion Dance |
| 4 | <u>インタビュー</u>
野田にホームステイした留学生
と交歓しました。 | <u>Interview</u>
Homestay students in Noda |
| 7 | <u>ミニ講演会</u>
「JICA」の活動を通しての国際交流 | <u>Presentation</u>
JICA's cultural exchange |
| 8 | <u>特別寄稿</u>
イングリッシュ・ロングボウ | <u>Special Feature</u>
English Longbow |
| 13 | <u>流山市国際交流協会との交歓会議</u>
野田市役所に NIFA の方々をお招き
し交歓会議を開きました。 | <u>Get-together with NIFA</u>
Meeting with Nagareyama International
Friendship Association. |

ガーデンパーティ 98
Garden Party '98

1998年10月14日、野田市市民会館において恒例のガーデンパーティが開催されました。約300名の参加者でにぎわいました。

さわやかな秋空のもとで、「バンブーダンス(フィリピンの民族舞踊)」「バツパカ獅子舞」をみんなで楽しみました。恒例となった日本の花嫁衣装の着付けコーナー、生け花、野点(のだて)、和菓子作り等も好評でした。

On October 14th, the Garden Party was held at the Noda Civic Hall and attended by more than 300 people.

Highlights of the party included the “*Bamboo Dance*”, the national dance of the Philippines and the “*Bappaka Shishimai*” a traditional Noda folk dance.

Guests also enjoyed some of our usual corners, such as wearing Japanese kimono, watching Japanese flower arrangement (*Ikebana*) and tasting Japanese sweets, ceremonial tea and other foods.



バンブーダンス(ティニクリンダンス) 今から200年位前、フィリピンのプリンスとプリンセスがダンスをしている時に鶴が飛んできて、このダンスのステップを鶴が踏んだのが始まり。竹を使用することからバンブーダンスと親しまれるようになった。学校で一番人気があり、儀式や舞台ショー等で行われる。

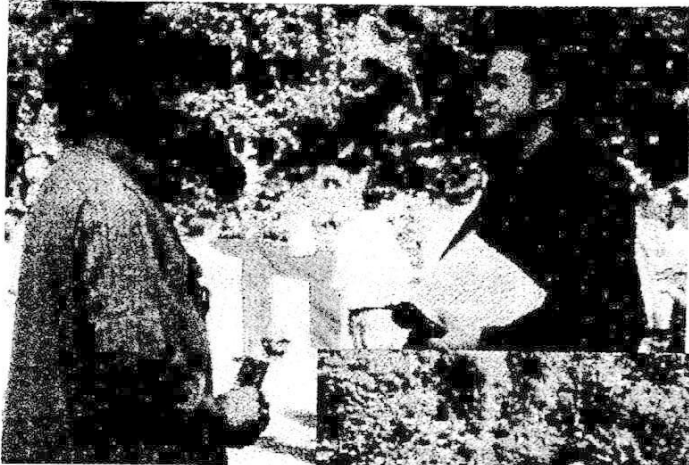
More than 200 years ago a Prince and Princess developed this dance based

on the dance of the crane. Now this dance is very popular, especially in schools. This dance is also practices as a New Years ceremony and show.



バツパカ獅子舞 毎年7月24日に清水八幡神社でこの獅子舞が健康と疫病退散の祈願とともに奉納される。太鼓の音がバツパカバツパカと聞こえることからバツパカ獅子舞と親しまれるようになった。

Every July 24th a lion dance takes place at Shimizu Hachiman Shrine to pray for good health and protection against disaster. The drums make a kind of bappaka bappaka sound, hence the name “*Bappaka Shishimai*”.



インタビュー
(Interview)

交換留学生として野田市内にホームステイで滞在された二人の方に野田の印象等を伺いました。(増田美江子記)

黄 永春さん (こう えいしゅん)
17歳 中国 黒龍江省
滞在期間：98年6月から2ヶ月

ジュリー・ヴァン・デル・エルストラテンさん
20歳 ベルギー
滞在期間：98年7月から5週間

司会

留学された一番の目的は何ですか。

黄さん

日本語のレベルを高めることです。将来は政治、経済学を勉強したいです。

ジュリーさん

建築の勉強をしています。

司会

野田で体験されたことで何か印象深かったことはありますか？

黄さん

東京は騒然としているが、野田は緑が多く静かで落ち着きます。皆さんが優しく親切でうれしい。野田の地図を片手に自分一人で市内をあちこち見て歩いたり、キャンプにも行きました。

ジュリーさん

櫛のホールを見学しました。写真もたくさん撮りました。三カ町祭でお神輿を担ぎましたが、想像したより大変重くてびっくりしました。

司会

お二人にお国のことをお尋ねしたいのですが。

I asked these exchange students who are staying in Noda City their impressions of Noda.

(Interviewer; Mrs. Mieko Masuda)

Name: Mr. Eishun Koh

Age: 17 Nationality: Chinese

In Japan from June to August 1998 (2 months)

Name: Julie van der Elstlaeten

Age: 20 Nationality: Belgian

In Japan from July to August 1998 (5 weeks)

Interviewer

What is your main reason for studying in Japan?

Mr. Koh

To improve my Japanese language skills. In the future I will study politics and economics.

Miss van der Elstlaeten

I am studying architecture.

Interviewer

What is your strongest impression of Noda?

Mr. Koh

Tokyo is much too crowded but Noda, with its rich greenery and calm atmosphere is much more relaxing. Also, everybody is very kind and helpful. I have walked around Noda with a map in my hand and have also been camping.

Miss van der Elstlaeten

I went to the Keyaki Hall and took many pictures of the architecture. I took part in the festival in Sangacho where I helped to carry the 'omikoshi'. It was much heavier than I expected.

Interviewer

Can I ask you something about your countries?

黄さん

ずっと住んでいたののでどう表現していいのかわからないので日本との違いを言います。私の住んでいる地域は専門店が集まってデパートになっていますが、日本のデパートはとても便利、ただし物価が高いのであまり品物が買えないのが困ります。

ジュリーさん

わたしの国は人口一千万人です。国は立憲君主制で、国王がいます。アルバート1世です。話すことばは、フランス語、ドイツ語、それにオランダ語です。

司会

最後に日本での思い出など一言どうぞ。

ジュリーさん

日本の踊りはあまり好きになれなかったけれど、野田での事はとても満足しています。それに野田はとても静かですばらしい。しかも日本のどこへ行くにも便利でした。

黄さん

ホストファミリーの小川さんにはとても感謝しています。来日する前から、いろいろ配慮していただきました。日本に滞在した間日本のお母さんと慕い楽しく過ごせました。明るく優しい一方で、躰けの厳しいお母さんです。とても感謝しています。

去る8月12日午後7時より野田ライオンズクラブの皆様と、同会員でNIRAの会員でもある高木様、小川様のご厚意でインタビューいたしました。留学生のお二人は帰国まじかでしたが野田の夏を満喫し、触れあった方々の親切や優しさに感謝され、さわやかな笑顔がとても印象的でした。

Mr. Koh

I don't really know how to answer that but I will try to explain some differences between China and Japan. The shopping centre near my home is made up of many small specialist shops. This is very different to Japanese department stores. Japanese department stores are very convenient but I think they are a little too expensive.

Miss van der Elstlaeten

Belgium has a population of about 10 million. It is a parliamentary democracy with a constitutional monarch, King Albert I. The official languages of Belgium are French, German and Flemish (Dutch).

Interviewer

Do you have any final comments about Japan?

Miss van der Elstlaeten

I'm afraid I don't really like Japanese dance, but I enjoyed staying in Noda very much. Noda is very quiet but very convenient for visiting other places in Japan.

Mr. Koh

I am very grateful to my host mother, Mrs. Ogawa. She has helped me in many ways since before I even came to Japan. She is very kind and funny but is also very strict, which I am very grateful for. I have become very attached to her.



ボランティアグループでは在住外国人の方々に日本語の勉強のお手伝いや、日常生活での相談にもなっています。ここにご紹介するのは日本に来て間もない中学生の日本語による作文です。日本の文化や日本語を一所懸命勉強しています。(なお、この作文は原文そのままを掲載しました。)

齋藤リエージェさん

私は八ヶ月間ぐらい、日本に住んでいます。

新しい生活して日本語を覚えようと思って日本に来ることにしました。今、私は中学校三年生です。

私は、早く松戸国際高校に入学したいです。そこで大ぜいの外国人も、世界に興味がある日本人も勉強しているのでとても面白そうです。

松戸国際で勉強すると私の生活がすごく変わるかもしれません。いろいろの国の人たちと話せるので文化も習慣も分かることができます。

入学試験に合格できるために、夏休み中市役所で、私はサンリオというフィリピン人と勉強していました。

国際交流協会のボランティアたちは日本語だけでなく、いろいろなことを教えてくれたのは良かったと思います。

竹下サンリオさん

私は、リエージェさんと夏休みの間に日本語の勉強をしました。その日本語の勉強はみじかいけれど、沢山の日本語のことばとかんじをおぼえました。

私の学校のしゅくだいも、先生たちは、いつもてつだってくれました。私は本当に嬉しかったです。毎日の勉強は、すこし話す時間がありましたので、楽しかったです。先生たちは本当に優しくかったです。だから私は心から、先生たちのことを本当にわすれないです。これからも、日本語の勉強を一生懸命頑張りたいと思います。

Miss Liege Saito

I have been in Noda for only 8 months. Before I came to Noda I made up my mind to learn Japanese and start a new life in Japan. Now I'm in 3rd grade in junior high school in Noda. I'm looking forward to going to Matsudo International High School. I'm interested in making many new friends there. Maybe my life will change very much because I will be able to meet many people from all around the world and get to understand many different cultures and customs.

During the summer holidays, I studied for my entrance examination with my best friend Sanrio in the city hall. NIRA's volunteer staff have been helping me to learn not only Japanese but have helped me with many things. I am very grateful to them.

Miss Sanrio Takeshita

I had learned Japanese with my best friend Liege during this summer holiday. I learned Japanese and Kanji characters for a short time. I am very happy that my teachers usually help me to do my homework. I enjoy chatting with my friends and teachers during class and I will never forget my teachers. I will try to study Japanese the best I can.

ミニ講演会
「JICAの活動を通しての国際交流」
成瀬 猛 さん

9月13日に当協会会員の成瀬猛様（JICA勤務）による「JICAの活動を通しての国際交流」というテーマでミニ講演会を開催しました。成瀬氏はエジプト、イラク、バングラディシュ等に多年駐在され、出張では40数カ国にわたることで、外国経験の豊かな国際人であります。

JICA (Japan International Cooperation Agency)、日本国際協力事業団では1,200人の職員が活躍されています。

業務の主目的は、主に開発途上国へのODA（政府間開発援助）を通しての技術協力と無償資金協力の実施です。

今や世界の人口は約60億人、その80%が開発途上国の人々で、日々貧困に喘ぎ満足な生活をしていません。一方、先進国は20%の人口で、全体の80%の総生産を占め、豊かな文明生活を享受しているのが現状です。先進国の一員である日本の繁栄は、日本独自では成立しません。一次資源を入れ、加工し、輸出して、資金を獲得するまでのサイクルを通して、世界が驚く経済発展を成し遂げた訳で、その一次資源のほとんどが開発途上国より輸入しています。となると、これ等開発途上国への援助は先進国として当然の義務であります。

ODA（政府間開発援助）の主眼点

(1) 技術協力

飢えている人に魚を与えるのではなく、魚を捕る道具を与え、その技術を教える、すなわち自立が出来るように協力する「人作り」をするのであります。

(2) 無償資金協力

技術協力に当然付随するものだが、開発途上国は貧困に起因する人口増加が環境破壊を招き、第一次産業の生産性を低下させ、更に貧困を生むという悪循環に悩んでいますし当然、社会不安、難民問題、エイズ他の病気など、人類全体の未来に関わる問題も深刻化しています。

従って食料支援や、インフラの整備など、社会資本の充実のための資金援助がどうしても必要になってきます。

我々日本人も、敗戦後、精神的に打ちひしがれ、極度の貧困にあったとき、援助物資（粉ミルク、穀物その他）や活動資金を仰いで、立ち直りのきっかけを作ってもらい、現在の日本の繁栄の基礎ができました。今、その時のお返しをやらねばならないのです。

以上ODA活動に、日本も相当の貢献をしています。総額では年間予算一兆円、世界でトップであります。国民一人当たりの額では一億円/年で世界の12番目、GNP比では19位に過ぎません。

見せていただいたビデオに、アフリカでの例ですが、水道の設備を作る過程がありましたが、水汲みのため、毎朝4～5kmを歩く必要がなくなり楽になったと人々が嬉しく目を輝かせている光景に、栓をひねれば自ずと水が出てくる私たちの日常生活と比べ、考えさせるものがありました。

また、ニッパ椰子の葉をかぶせただけの屋根の学校を粗末ながらきちんとした校舎に作り替えてあげ、完成したときの子供たち、先生の感謝の眼差し、言葉などにジーンと来るものを覚えました。

結論として、開発途上国への援助は、今や量よりも質に移ってきており、その主眼点は ①教育の充実 ②自然環境の保護 ③自立するための技術協力、経済的協力といえるのではないのでしょうか。

なお、成瀬氏は、98年10月にケニアのナイロビに赴任（駐在）されました。ご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。

（野手吉弘 記）



English Longbow

イングリッシュ・ロングボウ

by Mark Lithgow

One of the most crucial points in British history; the Battle of Hastings, on October 14th 1066 was decided with a single arrow. King Harold, after defeating a Viking invasion force 3 days earlier at the Battle of Stamford Bridge, was immediately faced with another invasion, this time from William of Normandy. During the fierce battle which ensued, Harold was killed by a Norman arrow in the eye. With one arrow, England changed from being a Saxon country to being Norman and Duke William of Normandy became King William I of England (1066-1087).

Thought by some to have been developed by the Welsh while others believe the Vikings brought it to our shores, it was Edward I (1272-1307) who first saw the real potential in the longbow as a weapon of war and encouraged the common man to develop skill in its use. Indeed, through the next few centuries, even chainmail and plate armour were shown to prove little protection from the power of the longbow.

Perhaps the most well-known exponent of the longbow was



Henry V (1413-1422). After the Battle of Agincourt in 1415, fought by 6,000 Englishmen (including 5,000 archers) against about 60,000 French knights and men-at-arms, the death toll reached 10,000 French to less than 100 English. Contemporary chronicles spoke of the sky becoming dark and arrows falling 'as thick as hail'. The archers were shooting at least 10 arrows per minute; with deadly accuracy.

Strict laws were instituted by Edward IV (1461-1483) to encourage common men to polish their skills. He decreed that "Every Englishman or Irishman dwelling in England must have a bow of his own height."

In 1470, all sports such as football, dice and tennis were outlawed and anyone found taking part in such pastimes was fined, as was anyone not showing up on Sundays and other holidays for archery practice at the village churches. The only 'sport' recognized by law was archery.

In 1542, every man between 24 and 60 had to, by law, practice at ranges of no less than 220 yards (201m) and was expected to consistently hit man-sized targets at these ranges.

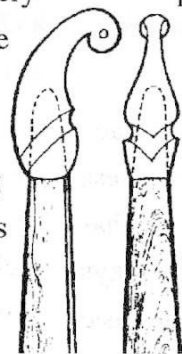
Such was the importance placed on archery that fathers of male children between 7 and 17 had to supply their sons with a bow and 2 arrows and on reaching 17 they had to provide their own bow and 4 arrows on pain of fine.



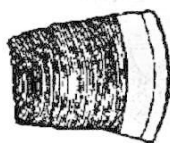
At the Battle of Crécy in 1346, the French walked about 300m toward the English positions, taking about 90 seconds. In that time, 500 archers could loose at least 7,500 arrows.

The Bow

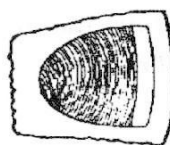
Although several woods are regarded as acceptable for the making of an English longbow, yew is undoubtedly the best. It was so valued in the past in fact that in 1472, Edward IV decreed that any ship bringing goods from such trading states as Venice, should for every ton of merchandise imported, bring 4 yew bowstaves. Ships captains not complying with these import tax laws were heavily fined.



The secret to the longbow's power lies in the natural qualities inherent in the wood. A bow, when drawn, faces stresses in 2 directions. The *back* of the bow (the side facing away from the archer) is stretched and the *belly* of the bow (the side facing the archer) is compressed. By using the outside of the tree, just under the bark, the resistance to stretching inherent in the *sapwood* and the resistance to



compression inherent in the *heartwood* can be utilized.



Unlike the rectangular

cross-section and asymmetrical recurve of Japanese bows, the longbow is shaped like a "D" in cross-section with the flat side away from the archer and is held in the middle, the bow being straight when unstrung and forming a single curve when strung.

The top and bottom of a longbow, or 'nocks' are made of horn to prevent the string from damaging the wood and the left hand side of the bow, above the handle is protected from the continuous abrasion of the arrow by an 'arrow-plate' of silver, horn or mother-of-pearl.

Unlike kyudo, where the arrow is shot from the right hand side of the bow and is drawn past the head, a longbow arrow is shot from the left hand side of the bow with the drawing hand coming back to an anchor-point on the side of the jaw.

To give an idea of the physical strength of the medieval archers, a modern Olympic-style archer may pull a bow with a draw-weight of around 40lbs (18kg). Archers of the 14th to 16th centuries pulled between 80lbs (36kg) and

190lbs (86kg). Mine is a relatively weak 65lbs (29.5kg).

My Profile

I have been living here in Noda for over 12 years now. I came to study Japanese classical martial arts under Masaaki Hatsumi of the Bujinkan Dojo. I originally planned to stay for only 2 years but found that the more I studied, the deeper the art and the Japanese culture was. That is why I stayed.

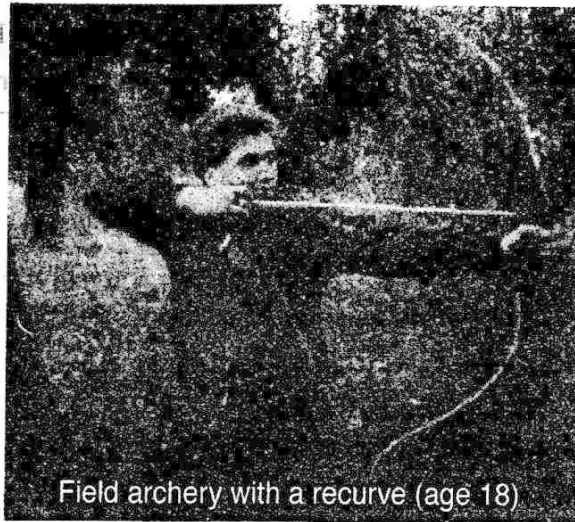


My father in 15C. costume

I started archery at the same time as my father when I was about 17. My father is now the chief longbow instructor at a school in southern England which specializes in medieval skills for the movie and theatre industry.

The type of archery I used to do is called 'field archery' (as opposed to target archery). In target archery, the distance is

always the same but in field archery the distance is always different and the archer must continuously mentally calculate the arrow's trajectory to the target. This is why field archery is also known as 'instinctive archery'. Also, along the course, where we are shooting at pictures of animals, the archer is forced



Field archery with a recurve (age 18)

I have met archers from several of the world's archery cultures and even though our form is different and our bows and arrows are different, we all share a special passion that most archers have. The thrill that comes with a good draw and

to shoot from different positions, around, over and under obstructions such as trees etc. The mark of a good archer is not his form, but his flexibility.

The hunt and the other archery 'games' were, centuries ago, tools to make the archer more effective on the battlefield and many longbow archers, including myself become involved in the historical, martial aspect of archery and I enjoy researching this aspect. As a martial artist, I see not a sport but a martial link with the past, archery being the only surviving martial skill from what was once a strong warrior culture.

The Japanese have always been very good at writing things down and preserving things through the generations as a form, but England has never been so good at recording

everyday activities in writing.

However, even though we lack the written tradition of Japanese martial arts, the basic form, has never died. There has always been someone to teach the basic form to his son and keep it alive through the generations.

Many Japanese martial artists may imagine that their blood ancestors used the techniques which they learn now with sword, bow etc., but it is really impossible to know for sure as family lines could have been broken or just not recorded. I, however, feel a real connection with my ancestors in that I *know* that my ancestors were archers; after all, for several centuries, all Englishmen were archers. The blood of the medieval archer runs through my veins and I feel a deep sense of history when I draw my longbow.

a clean release. Watching the arrow fly true and hearing the satisfying sound of it penetrating the target. From experience, I have found archers from around the world have a feeling of brotherhood.

It is not easy to find a place to practice with my longbow in Japan but I do find the chance occasionally and look forward to my visits to England so that I can shoot with my father and friends in the beautiful countryside where the English archer has roved for centuries.



Armorial bearings of Mark Lithgow as granted by Royal Warrant.

イングリッシュ・ロングボウ

英国の弓の歴史

英国の歴史を塗り替えた最も決定的な戦いの一つそれは1066年10月14日、ヘイスティングスの戦いで、一本の矢がこの戦いの終止符を打った。ハロルド王はバイキングの侵攻にスタンフォードブリッジの戦いで3日におよぶ攻防にあった。突然ノルマンディのウィリアムからの攻撃に直面した。激しい攻撃を受ける中、ハロルド王はノルマンからの矢の一撃を目に受け壮絶な最後をとげた。たった一本の矢で英国はサクソンからノルマンのデューク・ウィリアムの手に移った。後に伝えられるウィリアム一世(1066～1087)である。

英国の弓術はウエールズ人によって発展を遂げたという一説に対して、バイキング(北欧海賊)たちによってもたらされたという説もある。エドワード一世(1272～1307)は弓を戦術に取り入れたといわれ、弓の訓練を奨励した。ロングボウの威力は高く、この後数世紀の間、実際に鎖かたびらや金属製の鎧、防具はロングボウの矢の前に歯が立たなかった。

英国の弓術の代表的な歴史に残る人物はといえば、だれもがたぶんヘンリー五世(1413～1422)というだろう。1415年のアジンコートの戦いでは、六千人の英国兵(このうち五千人が射手)と六万人のフランス兵が戦った。一万人のフランス兵死者が出たが、なんと英国兵は百人弱だったという。当時の年代の記録に書かれていることは空が矢で暗くなり、あられのごとく矢が飛んできたとある。また、恐ろしいほどの正確さで射手は少なくとも10本の矢を1分間に射っていたともある。

1346年のクレシの戦いではフランス兵がイギリス兵の方に300メートル歩く間に、500人のイギリスのアーチャーが、7500本の矢をたった90秒で射った。1人が6秒に一本を射った訳である。

エドワード四世(1461～1483)は厳しい法律を敷き、一般民衆に弓術の腕を磨かせた。その法律とは、英国に住むすべての英国人、アイルランド人に身長と同じ長さの弓を持つことを命じたものだった。

1470年にフットボールやテニスなどのスポーツそれにダイス(さいころ)などの娯楽には罰金をとられ、だれも気晴らしにやらなくなった。また日曜日や祭日の日には弓(アーチェリー)をやらなければ罰金をとられた。法律でスポーツと認められたのは弓だけだった。

1542年になると法律で24歳から60歳までの男に220ヤード(201メートル)以上の距離をとばし人間等身大の的を当てなければならなかった。

7歳から17歳の息子をもつ父親は必ず弓と矢を2本与えなければならなかった。そして17歳になると自分で弓と4本の矢をそろえることを法律で義務づけたほど英国は弓術を大事にした国である。

弓について

イングリッシュ・ロングボウに使う木の材質は、数種類あるが、一番は何といってもイチイの木であります。これについてはこんな話があります。エドワード四世は1472年に布告をしました。「ベニスなどの他の都市と取引をして物資を輸入するときは必ず関税として、4本のイチイの棒材を納めること。」この法律を守らない船長は重い罰金を課せられました。

ロングボウの一番大事なポイントは、自然の木が持っている生来の性質を利用しての事です。弓を引いてしなる時の外側は伸びる方に内側は圧縮される方に変形します。木より外側の白木はより若い部分で伸びる方に使います。木の内側の芯により近い

方を圧縮される方に使います。

日本の弓のように持ち手の部分は断面が、長方形で弓の中央よりやや下の部分を持ちますが英国の弓は持ち手の断面はアルファベットの「D」の形をしておりフラットの面を前面にむけて弓の中央を持って使います。

弓の両方の先端にはノックという牛か鹿の角でできた「ゆはず」をとりつけ、持ち手の部分は繰り返し矢羽でこすられるために、銀、角や貝でできたアロープレートのプロテクトをつけます。弓の弾き方は日本の弓道の場合は矢を弓の右側にクロスさせ射手の頭の後方まで矢を引きますが、英国の場合は矢は弓の左側にくるようにし、矢は射手の頬（ほお）まで引き、矢を射ます。弓の強さですが、近代オリンピックのアーチェリーはおよそ18kg（40lbs）、中世14～16世紀の射手が使った弓は36kg～86kg（80lbs～190lbs）です。なお私が使っている弓は中世のものより弱く29.5kg（65lbs）のものです。

英国の弓の本来は戦うためのもので、狩猟やゲームはそのための訓練でありました。大勢の人はアーチェリーを通じて英国の長い武術の歴史に親しんでいます。

日本人は伝統を、書物に残し、形、作法を大事にします。英国は日常の事柄は書き残す習慣がありませんでした。だからアーチェリーのことでも16世紀以前は書物に残っていません。しかしアーチェリーは父から子へと口伝で伝統を伝えることが守られ、基本のフォームが絶えることはありません。

私はアーチェリーをやることによって祖先とのつながりを感じます。なぜなら数世紀前は男はみんな弓を引いていたからです。

私のプロフィール

私は野田に住んで12年経ちます。私が日本に来て日本の古典武道を習いに、武神館の初見良昭宗家の門をたたきました。当初2年間の予定で修行をするつもりでした。し

かしその2年の間、私は日本の武道と文化が知るほどに深いことを学びました。そのようなわけで私は今も野田に住んでいます。

私が17歳の頃、父が弓をはじめたので私も一緒にはじめました。私の父は、英国南部の中世歴史研究専門学校で弓の主任教師を現在しています。映画や劇場でも特に必要なもので殺陣といえるものです。

弓には私がやっていたようなフィールド・アーチェリーとオリンピックで見るようなターゲット・アーチェリーがあります。ターゲット・アーチェリーは的までの距離が一定ですが、フィールド・アーチェリーは的までの距離が常に異なることから、射るときの弾道を計算しながら構えます。このようなわけで、フィールド・アーチェリーは直感的でもあります。動物の形をした的を射止める時、アーチャー（射手）は木などの障害物の状況に合わせた撃ち方が必要です。そのようなわけで、うまく射とめるためには弓を引くフォームではなく、周囲に合わせた柔軟な対応が要求されます。

私は今まで、いくつかの国のアーチャー達と会いました。それぞれの発達を遂げた各国の弓は道具もやり方もちがいます。しかし、アーチャー同志の熱意は誰もが同じで分かち合えるものと信じています。弓をひく爽快感とうまくいった放れ（リリース）から感じるスリル、的にあたる矢の爽快な音・・・

経験から、世界中のアーチャー達は気持ちのわかりあえる良い仲間同志であると思っています。

日本ではイングリッシュ・ロングボウの練習場所を見つけるのに容易ではありません。しかし、英国に行く機会を見つけては、父や友だちと一緒に昔からアーチャー達が親しんだ美しいカントリーサイドでロングボウを楽しむことができます。

交歓会議 Get-together with NIFA

1998年9月26日、野田市役所会議室にお隣の流山市国際交流協会（NIFA）の方々をお招きし交歓会議を開きました。流山市は人口15万人、創設8年、会員総数は185名で活動されています。会議では、活動内容を互いに発表した後、広報、イベント、語学研修などのテーマごと将来の企画や問題点の解決事例などの意見交換を行いました。今後もこのような交歓研修を続ける決議をしました。

A meeting was held with NIFA (Nagareyama International Friendship Association) at Noda City Hall on Sept 26th 1998. Nagareyama City has a population of about 150 thousand. NIFA, which was founded 8 years ago, presently has 185 members. Presentations about the activities of both organizations were given and many opinions about future plans and difficulties that we have to resolve were discussed. It was decided that more meetings such as this would be arranged in the future.



交流 (Exchange)

アップ・ウィズ・ピープル交流会

1998年12月6日、流山青年の家でアップ・ウィズ・ピープルとの交流会に、野田市国際交流協会も参加しました。

アップ・ウィズ・ピープルとは'68年創設の非営利の国際教育団体でアメリカ合衆国コロラド州デンバーに本部を持つ組織。異文化交流、地域活動、ショーパフォーマンスの活動を行う。今回は日本ツアー'98の企画で来日し、一行140名、21カ国の若人がミュージカル、ホームステイ、地域活動を行いました。京都、長野小諸市、熊本市、東京都など8都市を2ヶ月にわたりツアーを行いました。流山青年の家はツアーを終え、帰国する前の2泊の宿泊のために訪問しました。

写真はダンスインストラクター・スタッフ
ニーナさん (24歳ドイツ出身) と
にーらさん達

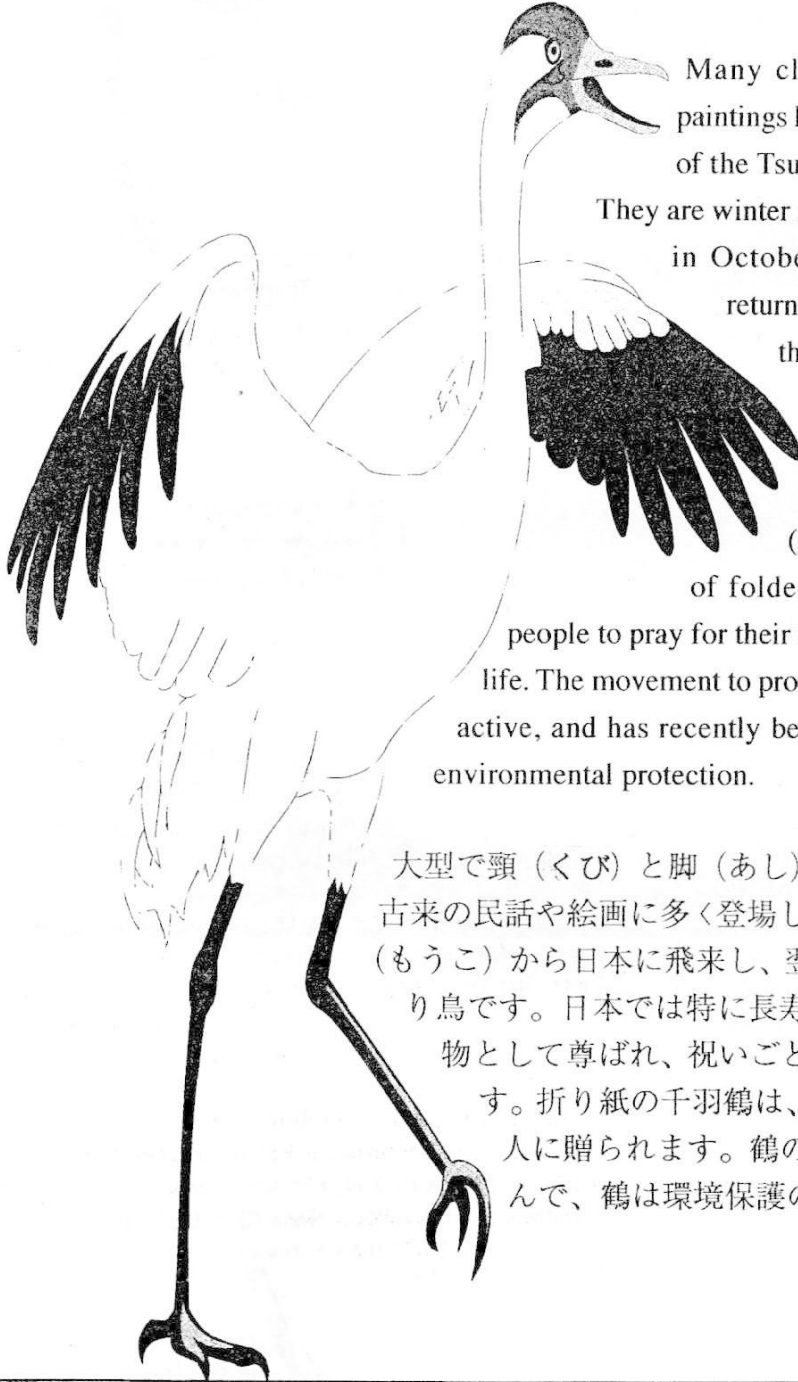


Representatives of NIRA attended an exchange meeting with "Up with people" on Dec. 6th 1998 at Nagareyama Seinen no Ie. Up with People is an international educational body founded in 1968 in Denver, Colorado, USA. Their activities include cultural exchange, community services and show performances. In the '98 Japan Tour, 140 staff and members who came together from 21 countries attended. They visited 8 cities: Kyoto, Komoro in Nagano, Kumamoto, Tokyo, etc. for almost 2 months. Before returning to their homes, they stayed at Nagareyama Seinen no Ie for 2 days.

編集後記 Editors' Comments

FANFAREでは編集長とスタッフを募集しています。第4号の発行になんとかたどり着きましたが企画、内容、技術など今までのところ、すべてが試行錯誤の連続です。神様、たすけてー！

文化探訪
CULTURAL EXPLORER (No. 4)
Crane (鶴)

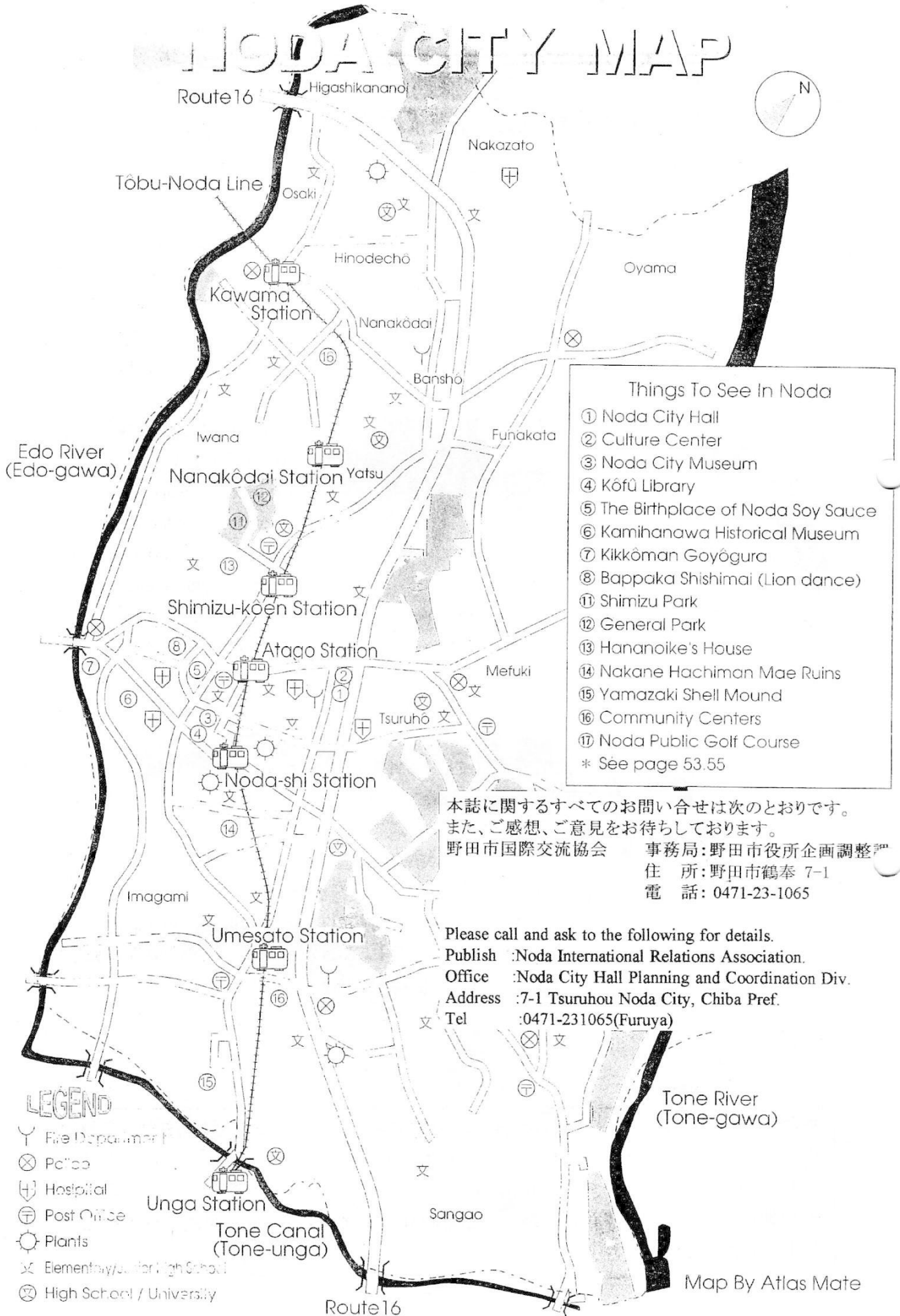


Many classical Japanese folktales and paintings have appeared, featuring the beauty of the Tsuru with their long necks and legs. They are winter migratory birds which fly to Japan in October from Siberia and Mongolia, returning the following March. In Japan they are valued especially as animals symbolizing long life and are often used for festive designs and decorations. One thousand cranes (“*senba-zuru*” in Japanese) made of folded paper (*origami*) are sent sick people to pray for their recovery from illness and for long life. The movement to protect the habitat of the *crane* is very active, and has recently become recognized as a symbol of environmental protection.

大型で頸（くび）と脚（あし）が長く、その美しさから日本古来の民話や絵画に多く登場します。10月にシベリアや蒙古（もうこ）から日本に飛来し、翌年3月には帰って行く冬の渡り鳥です。日本では特に長寿（ちょうじゅ）を象徴する動物として尊ばれ、祝いごとの図案や装飾によく使われます。折り紙の千羽鶴は、病気の回復と長寿を祈って病人に贈られます。鶴の生息環境を保護する運動も盛んで、鶴は環境保護の象徴にもなっています。

外国の方に日本のことを尋ねられ、うまく説明できなかったことがありますか？他国の言葉や文化はなるべく吸収しようと努力するのに、自国のことはついおろそかにしてしまいがちです。そこで、Cultural Explorerでは皆さんに日本の文化・伝統・習慣・その他いろいろな日本特有のものを英語で紹介します。外国の方と交流される機会に是非ご活用ください。

NODA CITY MAP



Things To See In Noda

- ① Noda City Hall
- ② Culture Center
- ③ Noda City Museum
- ④ Kōfū Library
- ⑤ The Birthplace of Noda Soy Sauce
- ⑥ Kamihanawa Historical Museum
- ⑦ Kikkōman Goyōgura
- ⑧ Bappaka Shishimai (Lion dance)
- ⑪ Shimizu Park
- ⑫ General Park
- ⑬ Hananoike's House
- ⑭ Nakane Hachiman Mae Ruins
- ⑮ Yamazaki Shell Mound
- ⑯ Community Centers
- ⑰ Noda Public Golf Course
- * See page 53.55

本誌に関するすべてのお問い合わせは次のとおりです。
また、ご感想、ご意見をお待ちしております。

野田市国際交流協会 事務局:野田市役所企画調整課
住所:野田市鶴奉 7-1
電話: 0471-23-1065

Please call and ask to the following for details.

Publish :Noda International Relations Association.

Office :Noda City Hall Planning and Coordination Div.

Address :7-1 Tsuruhou Noda City, Chiba Pref.

Tel :0471-231065(Furuya)

LEGEND

- Y Fire Department
- ⊗ Police
- ⊕ Hospital
- ⊕ Post Office
- ⊙ Plants
- ⊗ Elementary/Junior High School
- ⊗ High School / University

Map By Atlas Mate